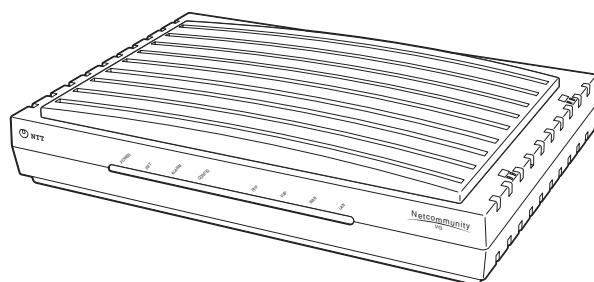
Netcommunity

VG420/820
取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティVG420/820をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■パスワードの取り扱いについて

本商品の設定画面で入力していただくユーザー用パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

・NTT 東日本のホームページ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
・NTT 西日本のホームページ： http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

ご使用にあたってのお願い

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のLINEポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。本商品に登録または保持された情報の消去は、当社のサービス取扱所までご連絡ください（有料）。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品および本商品に搭載されているソフトウェアについて改変、複製、販売、譲渡を禁止します。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。
また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。
Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■本商品の設置場所について

⚠警告

● 本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

⚠注意

● 本商品は次のような場所に置かないでください。また、指定された設置方法以外では設置しないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

● 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。
- 紙、本などをのせたり、立てかけたりする。

お願い

● 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

■本商品のお取り扱いについて

⚠警告

- 電源は、AC100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 差込口が２つ以上ある壁のコンセントに他の電気製品の電源プラグなどを差し込む場合は、合計の電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。
  なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり、本商品を破損した場合、または、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品に水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、LAN ケーブルなど外部の接続線をすべて抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタ、LAN ケーブルなどが接続されたまま移動すると、電源コードや電源アダプタコード、LAN ケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。医療事故や、社会的に大きな混乱が発生する原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります（電源プラグをコンセントから抜くと、ひかり電話オフィスタイプはご利用いただけません）。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

- 本書の接続方法に従って、LAN ケーブルの接続や回線の接続を行ってください。間違った接続をすると、接続機器や回線設備の故障の原因となることがあります。
- 本商品およびスタンドの底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください（電源プラグをコンセントから抜くと、ひかり電話オフィスタイプはご利用いただけません）。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを壁に取り付けるときは、本商品や電源アダプタの重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品の電源を再投入する場合、電源を切った状態から５秒以上経ったあと、電源の再投入をしてください。５秒以内に電源の再投入をすると、故障の原因となることがあります。
- 本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。
- 本商品をご使用中、本体や電源アダプタをさわると温かく感じることがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。
- 本商品に水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴が付いたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本商品の動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。本商品の動作中は、接続コード類には絶対に触れないでください。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

目　次

4 バージョンアップする

5 ご参考に

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成

1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 ひかり電話オフィスタイプを利用する
本商品に接続したビジネスホンなどの電話機の使用方法について説明しています。

3 本商品の設定
本商品の設定は接続したパソコンから行います。ここでは設定を行うためのパソコンの設定手順および本商品の設定方法について説明しています。

4 バージョンアップする
バージョンアップの設定および手順について説明しています。

5 ご参考に
故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

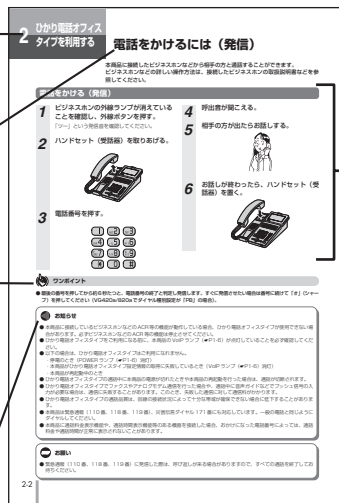
操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。

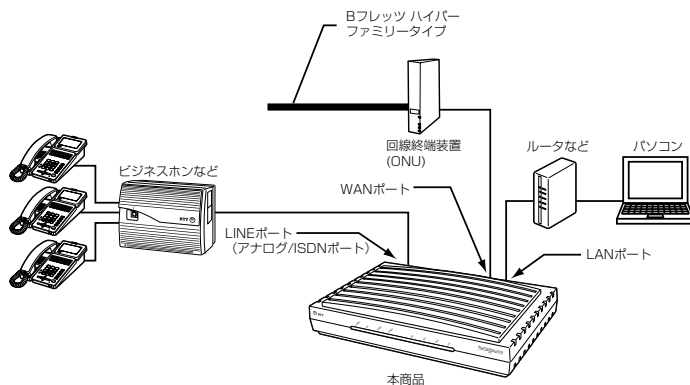
お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

●この取扱説明書では、本商品のイラストはVG820aを例として記載しています。

1 お使いになる前に

本商品でできること

本商品はひかり電話オフィスタイプ対応機器です。
B フレッツ　ハイパーファミリータイプ（NTT 東日本）、フレッツ・光プレミアム　ファミリータイプ（NTT 西日本）に接続し、既設のビジネスホンなどのアナログまたはISDN 回線収容の機器と接続することで、光 IP 電話サービス「ひかり電話オフィスタイプ」の利用を可能にするゲートウェイ装置です。1 台で同時に最大 4 チャネル（VG420）または 8 チャネル（VG820）の通話が可能です。
また、最大 32 の電話番号がご利用可能です。

NTT 東日本の構成

LAN 側からの PPPoE パケットを WAN 側に転送する機能により、本商品の LAN ポートに接続したルータを経由してプロバイダに接続することができます。

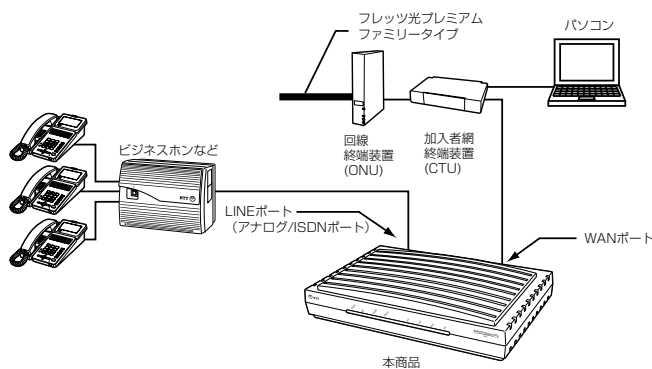
お願い

● インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

NTT 西日本の構成

お願い

● インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

特　長

最大８チャネルの同時通話が可能

最大8チャネルの同時通話ができます（VG820ご利用時）。

最大32個の電話番号が利用可能

最大32個の電話番号が利用できます。

固定電話相当の音声品質

音声パケットを優先して扱うので、固定電話相当の音声品質を実現します。

緊急通報も可能

緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル 171番のご利用が可能です。

ナンバー・ディスプレイに対応

ナンバー・ディスプレイ対応ビジネスホンなどを利用することで、電話をかけてきた相手の方の電話番号などを表示させることができます。
※ご利用には、別途ご契約が必要です。

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップ

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップします。

モデムダイヤルイン、i・ナンバー対応機器が利用可能

モデムダイヤルイン、ｉ・ナンバーなどに対応していますので、各種ネットワークサービスに対応したビジネスホンなどをそのままお使いになれます。

お願い

- 緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

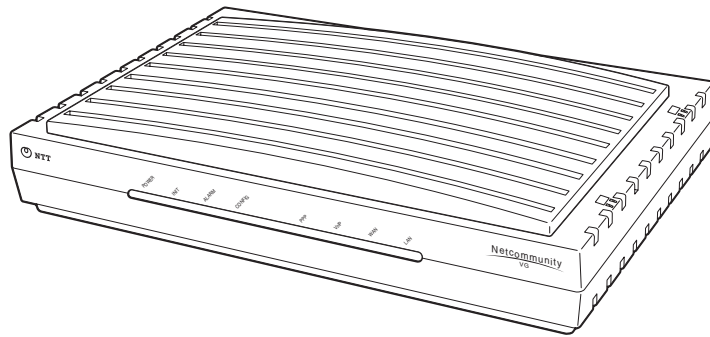
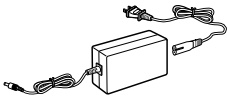
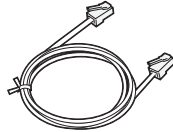
⚠警告

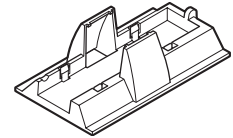
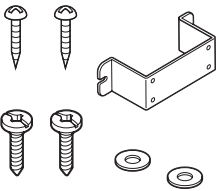
- お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。

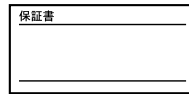
お知らせ

- 本商品は、新しいファームウェアを毎日定期的に確認し、新しいファームウェアがある場合、自動的にダウンロードしバージョンアップする機能があります。
- 新しいファームウェアがある場合、設定した時刻から１時間以内に新しいファームウェアをダウンロードし、自動的に再起動します。
  再起動の際にお客様が通話中だった場合は、通話が終わったあと１分経過後に再起動します。
  NTT東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

セットを確認してください

■本体

■付属品

電源アダプタ（1 組）

LAN ケーブル
（ストレート 1 本：約 1.5 m）

クイックコネクタ※

専用スタンド（1 組）

壁掛け用品
（1 式）

取扱説明書（1 部）

保証書（1 枚）

NTT 通信機器
お取扱相談センタ
シール（1 枚）

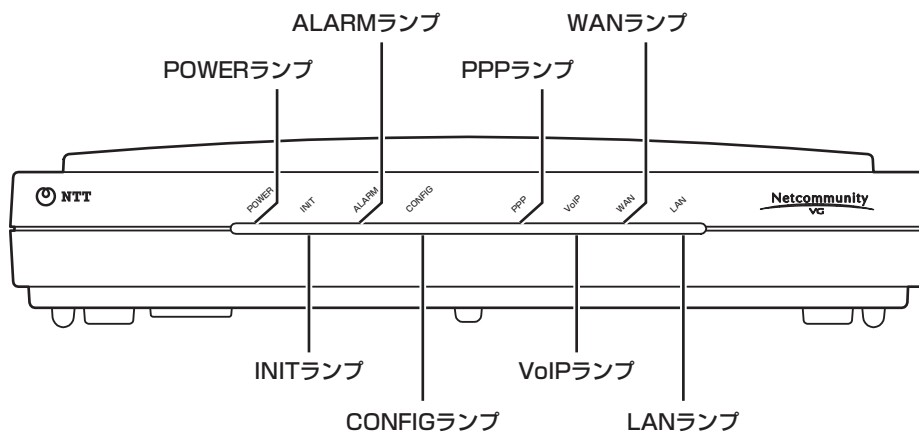
※クイックコネクタは、製品によって形状と個数が異なります。
- ・VG420a ：２芯、４個
- ・VG820a ：２芯、８個
- ・VG420i ：４芯、３個
- ・VG820i ：４芯、５個

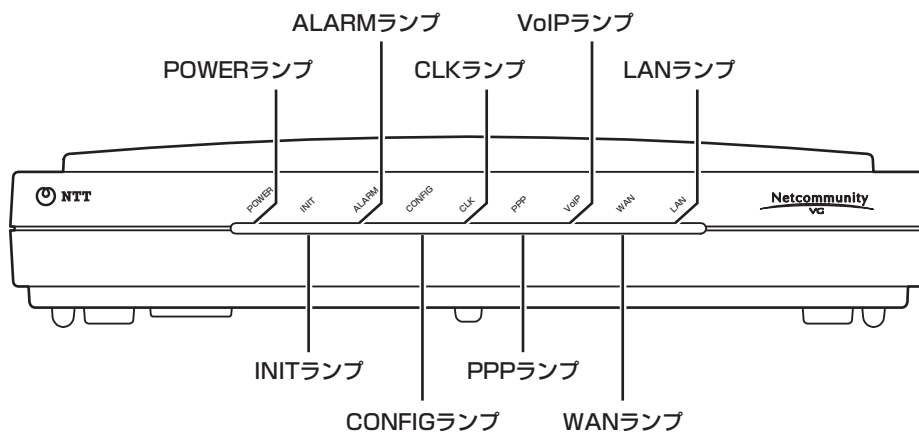
● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

● 付属品の形状は一例です。

各部の名前

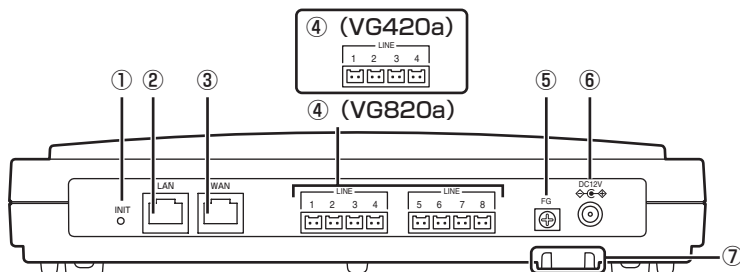
●VG420a（アナログインタフェース（4チャネル））
●VG820a（アナログインタフェース（8チャネル））

■前面

●VG420i（ISDNインタフェース（4チャネル））
●VG820i（ISDNインタフェース（8チャネル））

■前面

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
① POWER ランプ	点灯（緑）	電源が入っているとき
	消灯	電源が切れているとき
② INIT ランプ	消灯	通常の状態
	点灯（赤）	初期状態（お買い求め時の状態）
	点滅（赤）	メモリにデータを書き込み中
③ ALARM ランプ	消灯	正常な状態
	点灯（赤）	本商品が故障しているとき、または本商品が起動中のとき
	点滅（赤）	
④ CONFIG ランプ	消灯	ひかり電話オフィスタイプ設定がされていないとき
	点灯（緑）	ひかり電話オフィスタイプ設定が完了しているとき
	点滅（緑）	ひかり電話オフィスタイプ設定が設定中
	点灯（赤）	ひかり電話オフィスタイプ設定が失敗したとき（認証エラー）
	点滅（赤）	ひかり電話オフィスタイプ設定が失敗したとき(その他のエラー)
⑤CLK ランプ（VG420i/820i のみ）	消灯	CLK ポートを使用していないとき
	点灯（緑）	CLK ポートを使用しているとき
⑥PPP ランプ（NTT 東日本エリアでご利用のお客様のみ）	消灯	オフラインのとき（NTT 西日本エリアでご利用のお客様は常に消灯）
	点滅（緑）	接続トライ中
	点灯（緑）	接続中
⑦ VoIP ランプ	消灯	ひかり電話オフィスタイプが利用できないとき
	点灯（緑）	ひかり電話オフィスタイプが利用可能なとき
	点滅（緑）	ひかり電話オフィスタイプ使用中（通話中、着信中、呼出中）
⑧ WAN ランプ	消灯	回線終端装置（ONU）、または加入者網終端装置（CTU）に接続していないとき
	点灯（緑）	回線終端装置（ONU）、または加入者網終端装置（CTU）に接続しているとき
	点滅（緑）	回線終端装置（ONU）、または加入者網終端装置（CTU）とデータ通信中
⑨ LAN ランプ	消灯	LAN ポートにルータ、パソコンなどを接続していないとき
	点灯（緑）	LAN ポートにルータ、パソコンなどを接続しているとき
	点滅（緑）	LAN ポートに接続したルータ、パソコンなどとデータ通信中

各部の名前

● VG420a（アナログインタフェース（4 チャネル））
● VG820a（アナログインタフェース（8 チャネル））

■背面

①初期化スイッチ（INIT）
本商品をお買い求め時の状態に戻すときに使います。発信や着信ができなくなるため、工事担当者以外使用しないでください。

②LAN ポート
・ルータやパソコンなどを接続します。（NTT 東日本エリアでご利用のお客様）
・本商品を設定するときに限りパソコンを接続します。その他の場合は、パソコンなどの機器を接続しないでください（NTT 西日本エリアでご利用のお客様）。

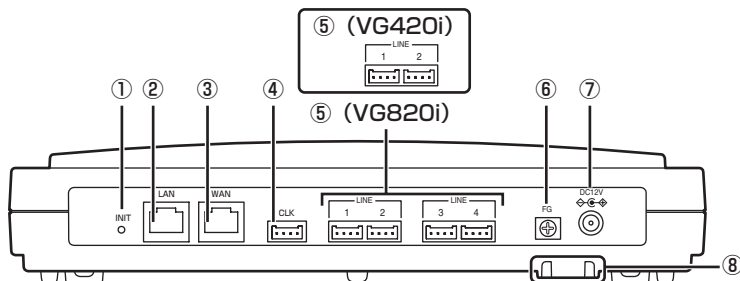
③WAN ポート
回線終端装置（ONU）、または加入者網終端装置（CTU）と接続します。

④LINE ポート1～8（VG820a）、または1～4（VG420a）
ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

⑤FG 端子
アースに接続します。

⑥電源アダプタコード端子
電源アダプタを接続します。

⑦電源アダプタコード固定用溝
電源アダプタコードを U 字形の溝に引っかけて固定します。

● VG420i（ISDN インタフェース（4 チャネル））
● VG820i（ISDN インタフェース（8 チャネル））

■背面

①初期化スイッチ（INIT）
本商品をお買い求め時の状態に戻すときに使います。発信や着信ができなくなるため、工事担当者以外使用しないでください。

②LAN ポート
・ルータやパソコンなどを接続します。（NTT 東日本エリアでご利用のお客様）
・本商品を設定するときに限りパソコンを接続します。その他の場合は、パソコンなどの機器を接続しないでください（NTT 西日本エリアでご利用のお客様）。

③WAN ポート
回線終端装置（ONU）、または加入者網終端装置（CTU）と接続します。

④CLK ポート
本商品とビジネスホンの ISDN 外線ユニットなどと同期をとる場合に使用します。

⑤LINE ポート1～4（VG820i）、または1～2（VG420i）
ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

⑥FG 端子
アースに接続します。

⑦電源アダプタコード端子
電源アダプタを接続します。

⑧電源アダプタコード固定用溝
電源アダプタコードを U 字形の溝に引っかけて固定します。

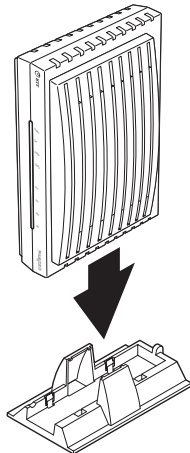
ワンポイント

● 本商品をお買い求め時の状態に戻すには
工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください（有料）。

本商品を設置する

本商品は横置きで設置するほかに、スタンドを取り付けて縦置きしたり、壁に取り付けることができます。

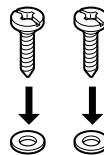
スタンドを取り付ける

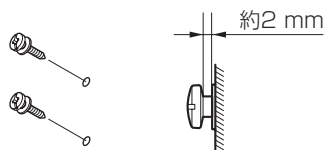
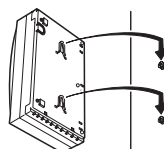
付属品の専用スタンドを使用して、本商品を縦置きすることができます。

壁に取り付けるには

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ 19 mm）2 本とワッシャ 2 枚を使って壁や柱などに取り付けてください。

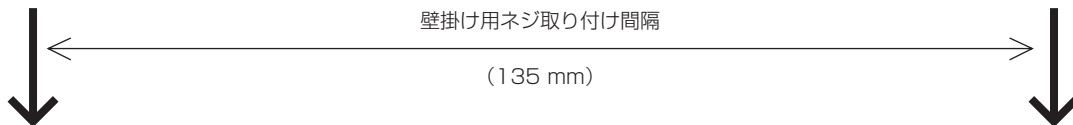
1 2 本の壁掛け用ネジの取り付け位置（上下幅 135 mm）を決める。

壁掛け用ネジを壁に取り付ける際は、ページ下に記載の矢印の間隔にネジを取り付けてください。

2 ワッシャに壁掛け用ネジ（長さ 19 mm）を差し込む。

3 壁掛け用ネジ 2 本を壁に取り付ける。

ネジの頭と壁側のワッシャの間に約 2 mm の隙間ができます。

4 本商品底面の壁掛け用穴を、壁に取り付けたネジに引っ掛ける。

⚠注意 ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

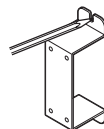
本商品を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。

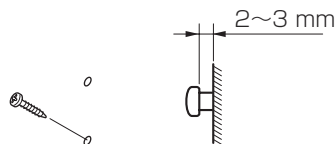
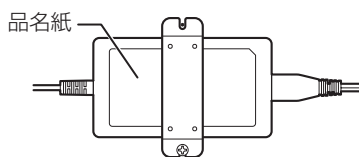
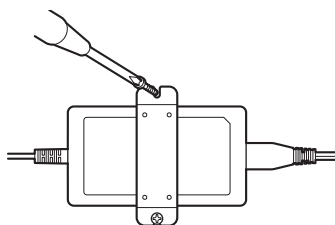
壁掛け用ネジ取り付け間隔

（135 mm）

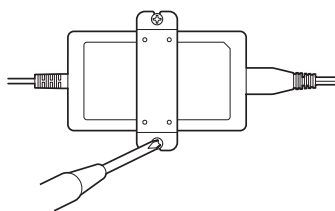
本商品を設置する

電源アダプタを壁に取り付けるには

電源アダプタを壁に取り付けて使用することができます。
付属品の電源アダプタ取り付け用ブラケットと固定ネジ（長さ 16 mm）２本を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 電源アダプタ取り付け用ブラケットを取り付け位置に当て、固定ネジの取り付け位置（上下幅 75 mm）に印を付ける。

2 下側の固定ネジ（長さ 16 mm）を壁に取り付ける。

このとき、ネジの頭を壁より約２～３ mm 程度出した状態にしてください。

3 電源アダプタの品名紙を表にして、電源アダプタ取り付け用ブラケットを電源アダプタにかぶせ、下側の U 字穴を壁に取り付けたネジに引っかける。

4 固定ネジ（長さ 16 mm）を電源アダプタ取り付け用ブラケットの上側の U 字穴に差し込み、壁に取り付ける。

5 電源アダプタ取り付け用ブラケットの下側の固定ネジを締める。

⚠注意

- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に電源アダプタを取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは水平に取り付けてください。垂直に取り付けた場合、コードを引いたときに電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは動かないようにしっかりと固定してください。電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 電源アダプタは品名紙が表になるように取り付けてください。

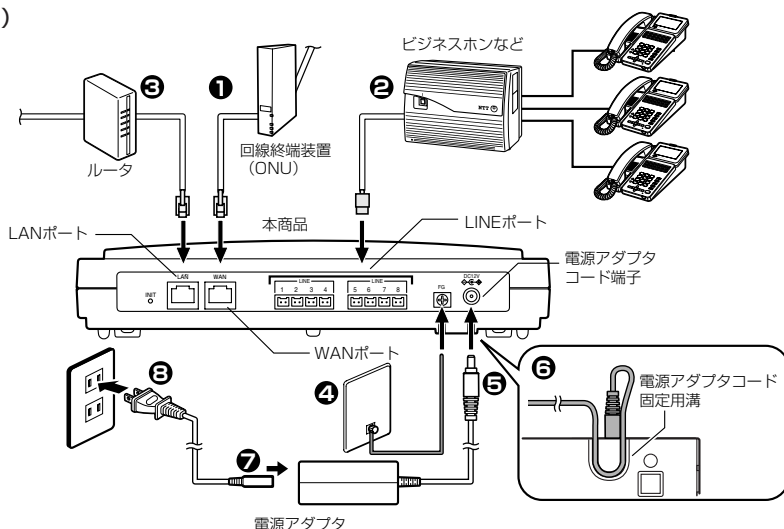
電源アダプタを壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。

本商品を接続する

本商品と回線、ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。
本商品の接続は工事担当者が行います。

NTT 東日本エリアでご利用のお客様

本商品は、次のような構成で接続することができます。

（VG820a の例）

1 本商品を回線終端装置（ONU）に接続する。

ひかり電話オフィスタイプとプロバイダへのアクセスのために、回線終端装置（ONU）と、本商品の WAN ポートを付属品の LAN ケーブルで接続します。

2 本商品をビジネスホンなどの機器に接続する。

本商品の LINE ポートにビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

3 本商品とルータを接続する。

本商品の LAN ポートとルータを LAN ケーブルで接続します。

4 アース線を FG 端子に接続する。

落雷などによる人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
●アース線は、お手元の環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

5 電源アダプタの DC プラグを、本商品の電源アダプタコード端子に接続する。

6 電源アダプタコード固定用溝へコードを引っかけて固定する。

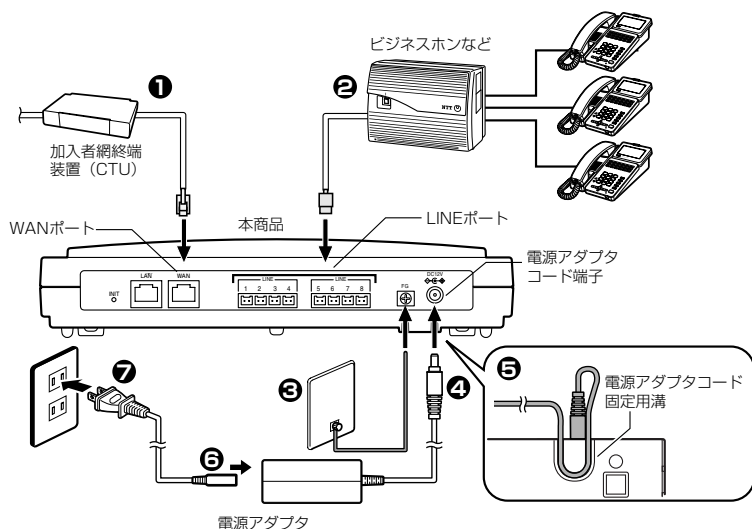
7 電源コードの電源アダプタ側プラグを電源アダプタに接続する。

8 電源プラグをコンセントに接続する。

本商品を接続する

NTT 西日本エリアでご利用のお客様

本商品は、次のような構成で接続することができます。

（VG820a の例）

1 本商品を加入者網終端装置（CTU）に接続する。

加入者網終端装置（CTU）と、本商品の WAN ポートを付属品の LAN ケーブルで接続します。

2 本商品をビジネスホンなどの機器に接続する。

本商品の LINE ポートにビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

3 アース線を FG 端子に接続する。

落雷などによる人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。

●アース線は、お手元の環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

4 電源アダプタの DC プラグを、本商品の電源アダプタコード端子に接続する。

5 電源アダプタコード固定用溝へコードを引っかけて固定する。

6 電源コードの電源アダプタ側プラグを電源アダプタに接続する。

7 電源プラグをコンセントに接続する。

お知らせ

- 加入者網終端装置（CTU）の設定を変更した場合は、必ず本商品を再起動してください。（☛P3-29、4-6）
- 本商品の LAN ポートには、ルータやパソコンなどは接続しません。本商品を設定するときのみパソコンを接続します。（☛P3-3）

NTT 西日本エリアでご利用のお客様

重 要　加入者網終端装置（CTU）にDHCP機能を使わない機器を接続する場合の注意事項について

本商品のIPアドレスについて

本商品には、加入者網終端装置（CTU）のDHCPサーバ機能により、1つのIPアドレスが設定されます。

このIPアドレスは、お客さまがご利用可能なIPアドレスのうち、加入者網終端装置（CTU）のDHCP払い出しIPアドレス※1を除く最若番のIPアドレスとなります。
例えば、加入者網終端装置（CTU）のDHCPサーバ機能が「初期値」の状態であれば、本商品に設定されるIPアドレスは、「192.168.24.2」※2となります。

※1　加入者網終端装置（CTU）を初期値でお使いの場合、「192.168.24.51～192.168.24.100」となります。
※2　「192.168.24.0」「192.168.24.1」は、ネットワークおよび加入者網終端装置（CTU）で利用しています。

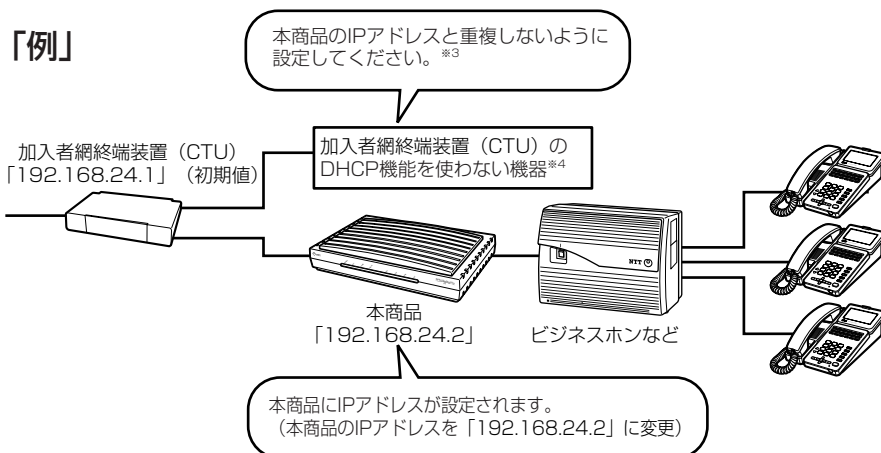
お知らせ

- 本商品に設定されているIPアドレスは、加入者網終端装置（CTU）設定画面から参照・変更ができます。
  加入者網終端装置（CTU）設定画面から、「詳細設定」→「DHCPサーバ機能設定」を選択してください。
  「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」の備考欄に、「ひかり電話」と記入されている欄のIPアドレスが、本商品に設定されたIPアドレスになります。
  詳しくは、「加入者網終端装置（CTU）ガイドブック」を参照してください。

加入者網終端装置（CTU）にDHCP機能を使わない機器を接続する場合

加入者網終端装置（CTU）に、DHCP機能を使わない機器を接続される場合、その機器に設定するIPアドレスと、本商品に設定されるIPアドレスが重複しないように設定してください。
IPアドレスが重複すると、正しくご利用いただけません。

お知らせ

- 加入者網終端装置（CTU）のIPアドレスは、「192.168.24.1」となっています（初期値）。
  このIPアドレスを「192.168.1.1」に変更すると本商品を正しくご利用いただけない場合があります。

※3　加入者網終端装置（CTU）を初期値でお使いの場合、「192.168.24.3」以降（DHCP払い出しIPアドレスを除く）のIPアドレスをお使いいただくことをお勧めします。
※4　ブロードバンドルータ、無線アクセスポイントアダプタなど

2 ひかり電話オフィスタイプを利用する

電話をかけるには（発信）

本商品に接続したビジネスホンなどから相手の方と通話することができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

電話をかける（発信）

1 ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげる。

3 電話番号を押す。

4 呼出音が聞こえる。

5 相手の方が出たらお話しする。

6 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。

ワンポイント

● 最後の番号を押してから約6秒たつと、電話番号の終了と判定し発信します。すぐに発信させたい場合は番号に続けて「#」（シャープ）を押してください（VG420a/820aでダイヤル種別設定が「PB」の場合）。

お知らせ

● 本商品に接続しているビジネスホンなどのACR等の機能が動作している場合、ひかり電話オフィスタイプが使用できない場合があります。必ずビジネスホンなどのACR等の機能は停止させてください。
● ひかり電話オフィスタイプをご利用になる前に、本商品のVoIPランプ（☛P1-6）が点灯していることを必ず確認してください。
● 以下の場合は、ひかり電話オフィスタイプはご利用になれません。
　・停電のとき（POWERランプ（☛P1-6）消灯）
　・本商品がひかり電話オフィスタイプ設定情報の取得に失敗しているとき（VoIPランプ（☛P1-6）消灯）
　・本商品が再起動中のとき
● ひかり電話オフィスタイプの通話中に本商品の電源が切れたときや本商品の再起動を行った場合は、通話が切断されます。
● ひかり電話オフィスタイプでファクスやアナログモデム通信を行った場合や、通話中に音声ガイドなどでプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。このとき、失敗した通信に対して通信料がかかります。
● ひかり電話オフィスタイプの通話品質は、回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合に低下することがあります。
● 本商品は緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番にも対応しています。一般の電話と同じようにダイヤルしてください。
● 本商品に通話料金表示機能や、通話時間表示機能等のある機器を接続した場合、おかけになった電話番号によっては、通話料金や通話時間が正常に表示されないことがあります。

お願い

● 緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅する。

2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

3 ハンドセット（受話器）を取りあげて、相手の方とお話しする。

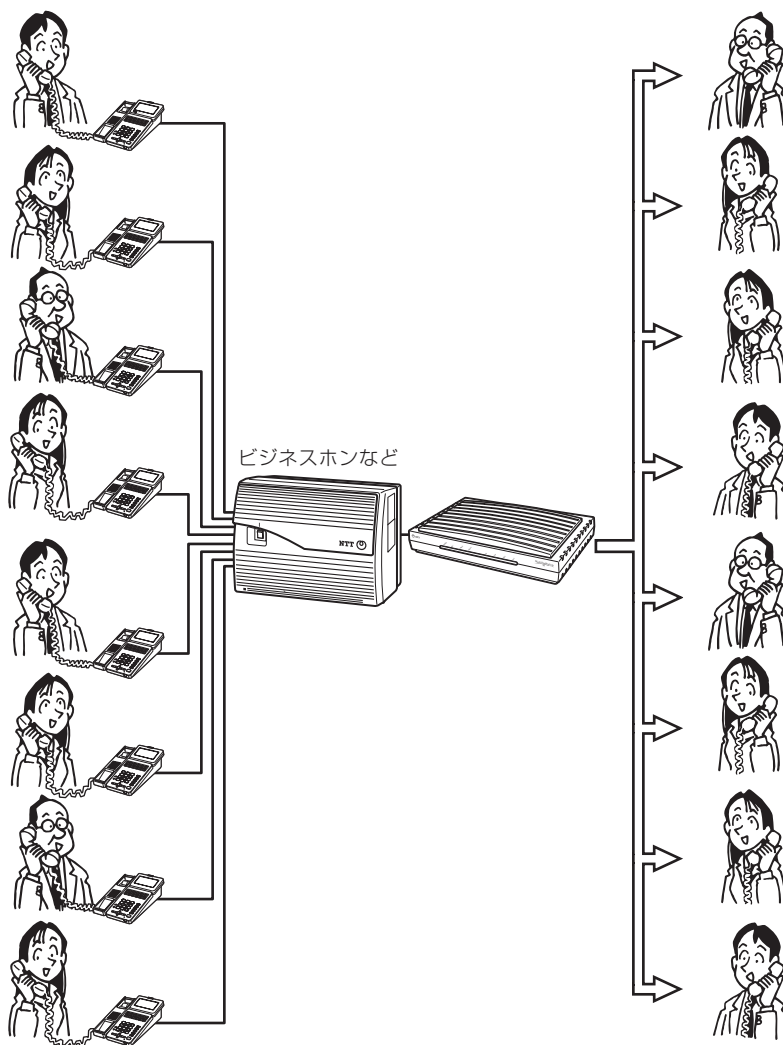
4 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。

ひかり電話オフィスタイプを便利に利用するには

同時に複数の通話を利用する

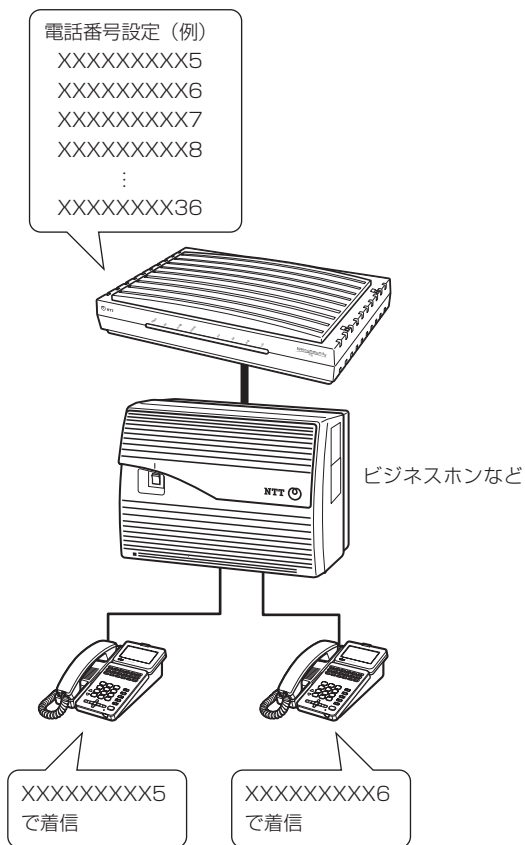
契約により、本商品に接続したビジネスホンを使用して、同時に４件（VG420）、または８件（VG820）の相手先と通話することができます。

●同時に複数の通話をご利用になる場合

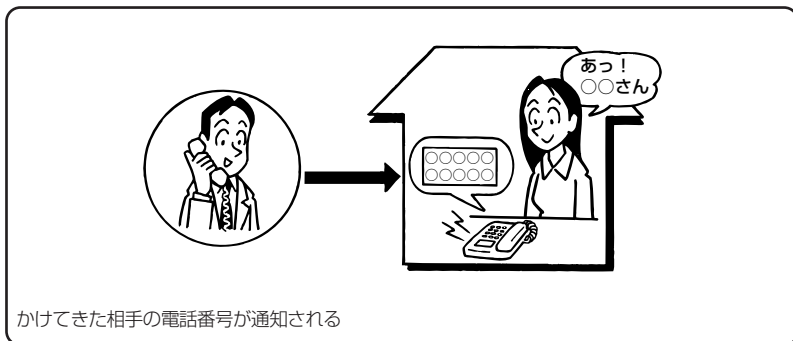
別々の相手先（外線）※と４通話（VG420）、または８通話（VG820）同時にご利用になれます。

※ひかり電話、ひかり電話オフィスタイプ、加入電話、ISDN、携帯電話、PHS、国際通話、他社のIP電話など

複数の電話番号を利用する

契約により、最大 32 個までの電話番号をご利用になれます。

ひかり電話オフィスタイプを便利に利用するには

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

かけてきた相手の電話番号が通知される

お知らせ

- 接続したビジネスホンなどの機器がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。
- ご利用には、別途ご契約が必要です。

その他のサービス

■ボイスワープ
かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送します。外出先から転送開始などの設定もできます。

■ナンバー・リクエスト
電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、「電話番号を通知してかけ直すよう」自動音声で伝えるサービスです。

■迷惑電話おことわりサービス
迷惑電話を受けた直後に、お客様が登録操作を行うことにより、以降同じ電話番号からかかってきた場合には、お客様に代わって「この電話はお受けできません。ご了承ください。」と自動的にメッセージで応答するサービスです。

お知らせ

● ご利用には、別途ご契約が必要です。
● 詳しい操作方法は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

3 本商品の設定

本商品の設定について

本商品の設定は工事者が実施しますので、お客様による設定は不要です。
番号の追加、ダイヤルイン設定の変更など、本商品の設定変更が必要な場合は当社サービス取扱所にご相談ください。
なお、一部の設定はお客様で登録、変更いただけます。

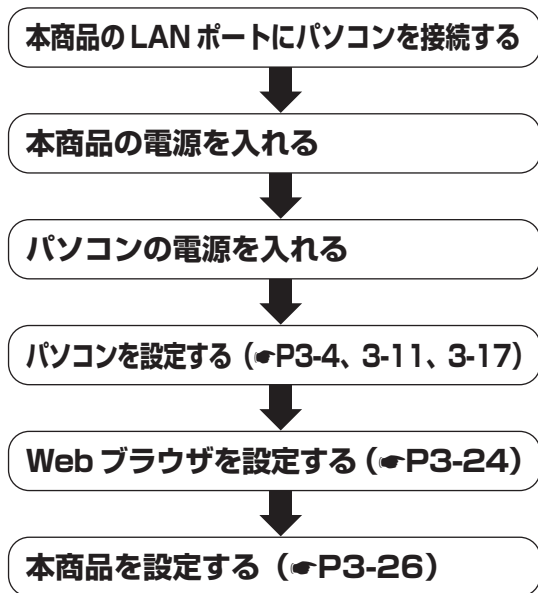
お客様で登録、変更可能な設定

■ファームウェア更新設定
自動ファームウェア更新詳細設定
・ 自動ファームウェア更新
・ 自動更新時刻
・ 自動ファームウェア更新開始日
■保守
カレンダー設定
・ 現在日時
ユーザ用パスワード設定

お知らせ

● 本商品は、ひかり電話オフィスタイプサービスの自動設定サーバからIP電話などの設定を自動取得します。
● 対応しているOSは、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® XP Home/Professional（SP2）です。
● 対応しているブラウザは、Windows® XP Home/Professional（SP2）ではInternet Explorer6.0（SP2）以降、Windows® 2000、Windows® MeではInternet Explorer6.0（SP1）以降です。
● 設定画面や構成は2006年6月現在のものです。ファームウェアの更新により、設定画面や構成が変わることがあります。

設定の流れ

本商品のLANポートにパソコンを接続する
本商品の電源を入れる
パソコンの電源を入れる
パソコンを設定する（☛P3-4、3-11、3-17）
Webブラウザを設定する（☛P3-24）
本商品を設定する（☛P3-26）

パソコンの設定（Windows® XP の場合）

Windows® XP の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P3-24）
本書では Windows® XP の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のモデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。
これまで ADSL 接続か B フレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」（☛P3-6）に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XP を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。

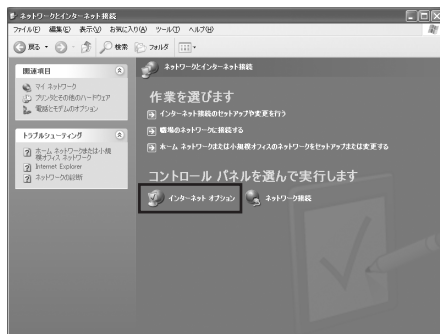
2「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

お知らせ

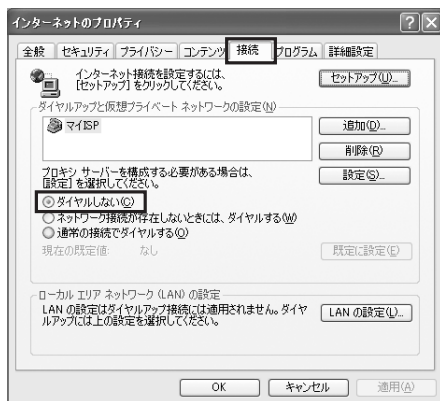
- Windows® XP ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書での画面では通常表示モードを前提に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer6.0（SP2）以降がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN 回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。

3 「インターネットオプション」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の［インターネットオプション］をクリックします。

4 ［接続］タブで［ダイヤルしない］を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。

［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。

5 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の［LANの設定］をクリックする。

（次ページへ続きます）

パソコンの設定（Windows® XP の場合）

6 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」を設定する。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

 お知らせ

● いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

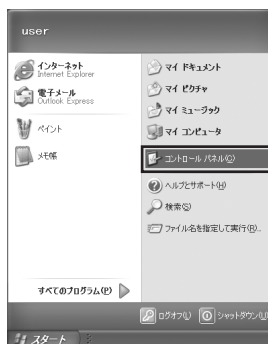
③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

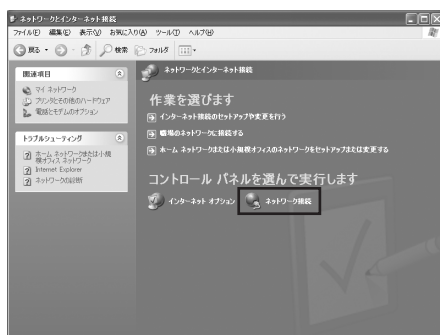
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® XP を起動し、「スタート」メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

「LAN または高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

ワンポイント

● 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「マイ ISP」となっています）。

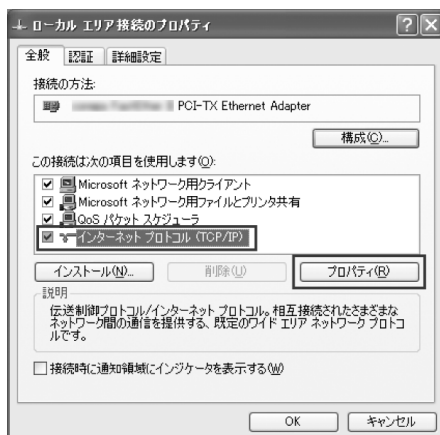
（次ページへ続きます）

パソコンの設定（Windows® XP の場合）

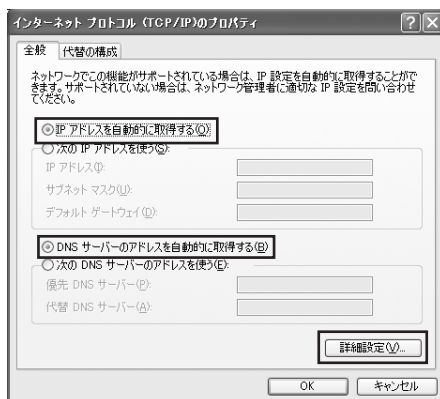
5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続の状態」の［プロパティ］をクリックします。

6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

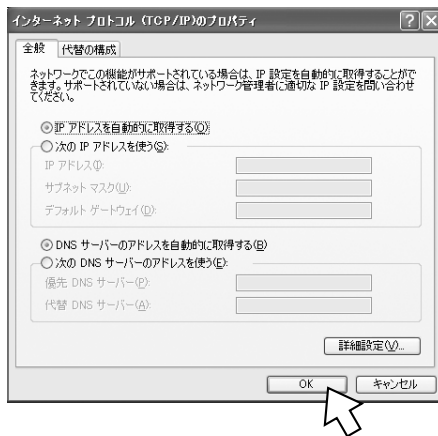
7 IP アドレスと DNS を設定する。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。
IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。

8 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする。

「TCP/IP詳細設定」の [IP設定] タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。

ワンポイント

●「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

9「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の [OK] をクリックする。

10「ローカルエリア接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする。

11「ローカルエリア接続の状態」の [閉じる] をクリックする。

パソコンの設定（Windows® XP の場合）

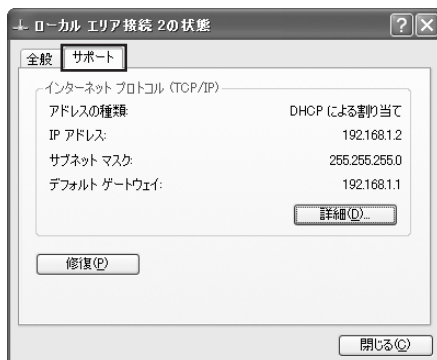
ネットワークの設定を確認する

パソコン(LAN カード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows ® XP では次の手順で確認します。

1 「ローカルエリア接続の状態」を表示する。

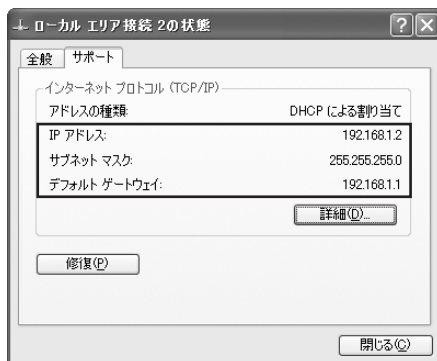
「ネットワークの設定」の手順 1 ～ 4 を行います。（☛P3-6 ～ 3-7）

2 ［サポート］タブで「接続状態」を確認する。

「ローカルエリア接続の状態」の［サポート］タブをクリックします。

3 IP アドレスを確認する。

確認する箇所は以下のとおりです。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、［修復］をクリックしてください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- ［修復］をクリックしても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 1 からやり直してください。

4 ［閉じる］をクリックする。

パソコンの設定（Windows® 2000 の場合）

Windows® 2000 の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。(☛P3-24)
お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のモデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。
これまで ADSL 接続か B フレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」(☛P3-13)に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 2000 を起動し、「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

2 「インターネットのプロパティ」を表示する。

コントロールパネルから「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。

お知らせ

- Internet Explorer6.0（SP1）以降がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN 回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

（次ページへ続きます）

パソコンの設定（Windows® 2000 の場合）

3 ［接続］タブで［ダイヤルしない］を選択する。

「インターネットのプロパティ」の［接続］タブをクリックします。
「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。
［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。

5 ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定をする。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す
「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

 お知らせ

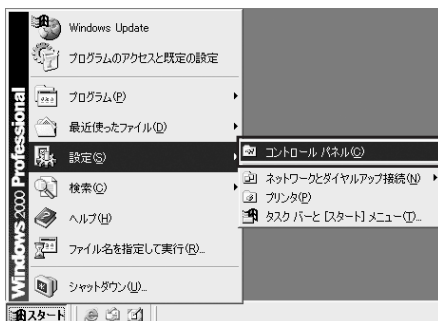
● いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® 2000 を起動して「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

2「ネットワークとダイヤルアップ接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

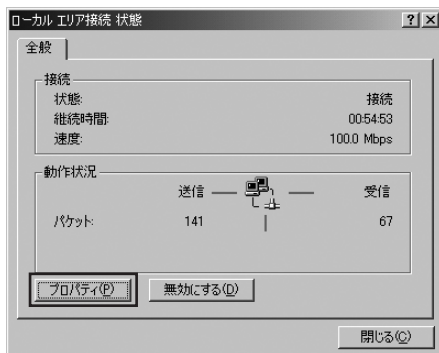
3「ローカルエリア接続」を表示する。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。

（次ページへ続きます）

パソコンの設定（Windows® 2000 の場合）

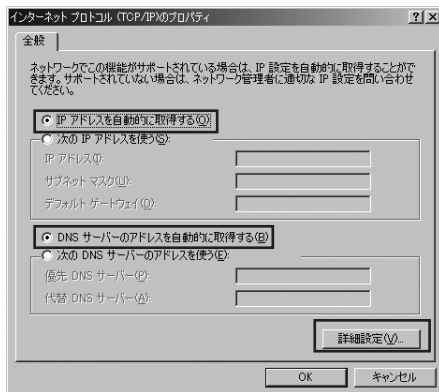
4 「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続状態」の［プロパティ］をクリックします。

5 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

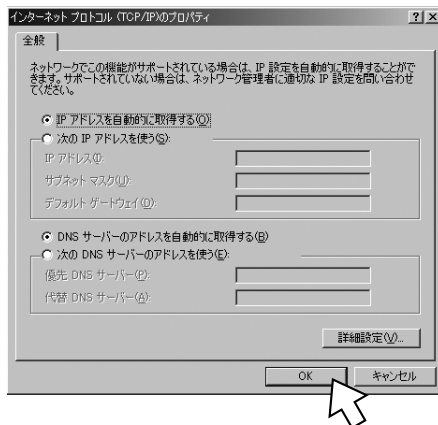
6 IP アドレスと DNS を設定する。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。
IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。

7 DHCP 設定を確認し、［OK］をクリックする。

「TCP/IP 詳細設定」の［IP 設定］タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。

ワンポイント

● 「DHCP 有効」となっていない場合、手順 6 の画面で［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してあるか、再度チェックをしてください。

8 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の［OK］をクリックする。

9 「ローカルエリア接続のプロパティ」の［OK］をクリックする。

10 「ローカルエリア接続状態」の［閉じる］をクリックする。

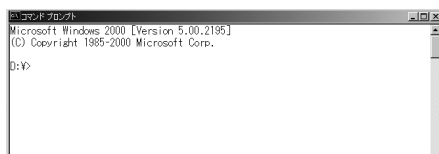
パソコンの設定（Windows® 2000 の場合）

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LAN カード)と本商品が正しく接続･設定されているか確認する場合、Windows® 2000 ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する。

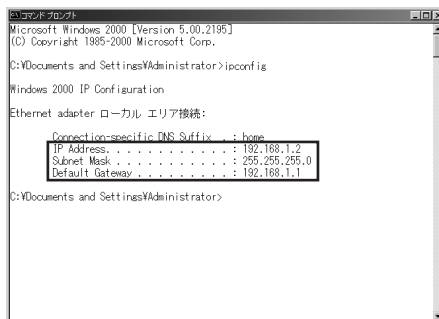
「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択し、「コマンドプロンプト」をクリックします。

コマンドプロンプトが表示されます。

2 ipconfig コマンドを実行する。

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英字で「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると、接続している各ネットワークアダプタについて、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報が表示されます。

ローカルエリア接続の以下の箇所を確認します。

- IP Address
- Subnet Mask
- Default Gateway

これらの情報はすべて自動で設定されます。

ワンポイント

- 各情報が正しく設定されていない場合は、半角英字で「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。
- 「ipconfig /renew」を実行しても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 1 からやり直してください。

パソコンの設定（Windows® Me の場合）

Windows® Me の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P3-24）
お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

これまで通常のモデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していた場合は、下記の方法でインターネットの接続を設定してください。
これまで ADSL 接続か B フレッツでインターネットに接続していた場合は、「ネットワークの設定」（☛P3-19）に進んでください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows® Me を起動し、「スタート」メニューから「設定」→［コントロールパネル］をクリックします。

2 「インターネットのプロパティ」を表示する。

コントロールパネルから［インターネットオプション］のアイコンをダブルクリックします。

お知らせ

- Internet Explorer6.0（SP1）以降がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- ISDN 回線でインターネットに接続していた場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

（次ページへ続きます）

パソコンの設定（Windows® Me の場合）

3 「接続」タブで「ダイヤルしない」を選択する。

「インターネットのプロパティ」の［接続］タブをクリックします。
「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。

5 ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定をする。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す
「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

 お知らせ

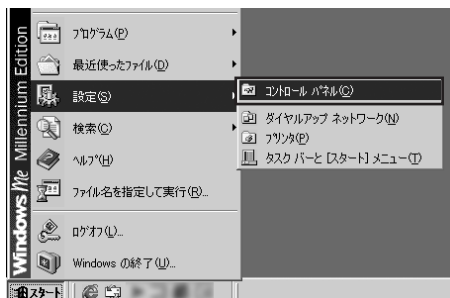
● いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする
「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

ネットワークの設定

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

2 ネットワークを表示する。

コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックします。

ワンポイント

● コントロールパネルに「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

（次ページへ続きます）

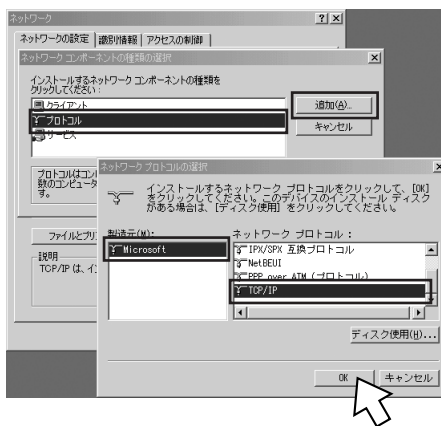
パソコンの設定（Windows® Me の場合）

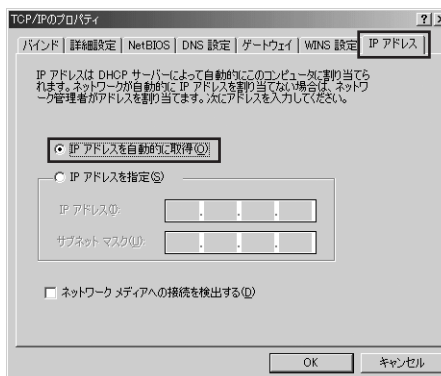
3 TCP/IP のプロパティを表示する。

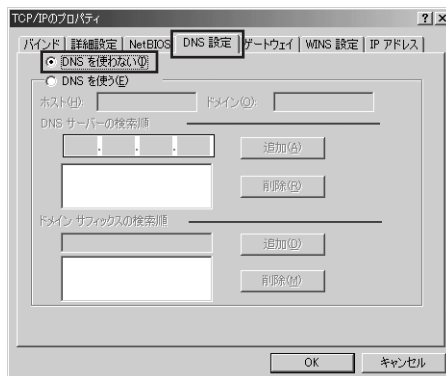
「現在のネットワークコンポーネント」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP　-> <LAN ドライバ名>※」という項目を選択し、［プロパティ］をクリックします。

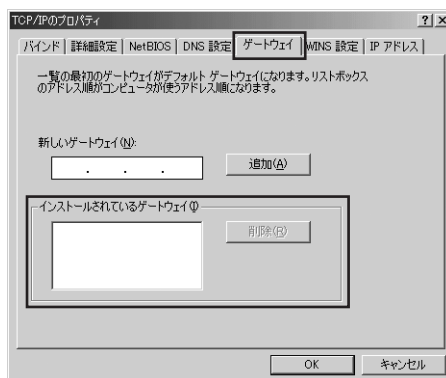
※<LAN ドライバ名>には、パソコンに装着されている LAN カードの名称が入ります。

ワンポイント

- 一覧に「TCP/IP -> ダイヤルアップ　アダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これは利用しません。
- 一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LAN ドライバ名>」という該当の項目がない場合は、［追加］をクリックしてください。「インストールするネットワークコンポーネントの種類をクリックしてください」の「プロトコル」を選択し、［追加］をクリックします。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して［OK］をクリックしてください。これで「現在のネットワークコンポーネント」一覧に TCP/IP が追加されます。

4 IP アドレスを設定する。

「TCP/IP のプロパティ」の「IP アドレス」タブをクリックして、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。

5 DNSを設定する。

「DNS設定」タブをクリックして、「DNSを使わない」を選択します。

6 ゲートウェイを設定する。

「ゲートウェイ」タブをクリックして、「インストールされているゲートウェイ」になにも設定されていないことを確認します。この欄に何か設定されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから［削除］をクリックして削除してください。

7 「TCP/IP のプロパティ」を終了する。

IP アドレス、DNS 設定、ゲートウェイを設定後、確認したら［OK］をクリックします。

8 「ネットワーク」を終了する。

「ネットワーク」に戻り、［OK］をクリックします。

ワンポイント

- ご利用中のパソコンによってはWindows® MeのCD-ROMをセットするようにメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

9 パソコンを再起動する。

最後に「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。［はい］をクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

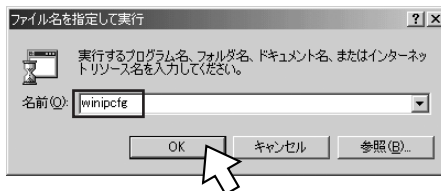
パソコンの設定（Windows® Me の場合）

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LAN カード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows ® Me では「winipcfg」から確認することができます。

1 「winipcfg」を起動する。

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、クリックします。

「名前」の入力欄に「winipcfg」と入力し、［OK］をクリックします。

2 IP アドレスを確認する。

winipcfg が起動したら、「Ethernet アダプタ情報」が表示されます。
確認する箇所は以下のとおりです。

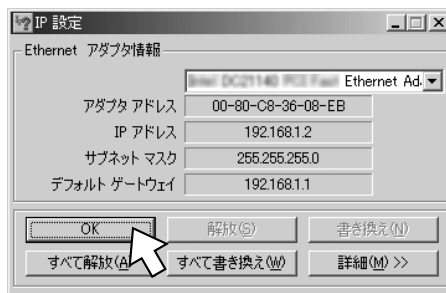
・ IP アドレス
・サブネットマスク
・デフォルトゲートウェイ

これらの情報はすべて自動で設定されます。
「Ethernet アダプタ情報」が「PPP Adapter.」と表示されている場合は右端のプルダウンメニュー ▼ をクリックして現在ご利用の LAN ドライバ名を選択し、変更してください。

ワンポイント

- IP アドレスが「0.0.0.0」となっていたり「デフォルトゲートウェイ」が空白になっていたりする場合は、まず［解放］をクリックして、次に［すべて書き換え］をクリックしてください。この操作で IP アドレスとデフォルトゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。
- IP アドレスやデフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 1 からやり直してください。

3 「winipcfg」を終了する。

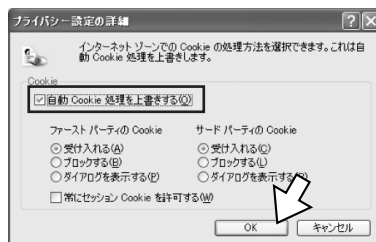
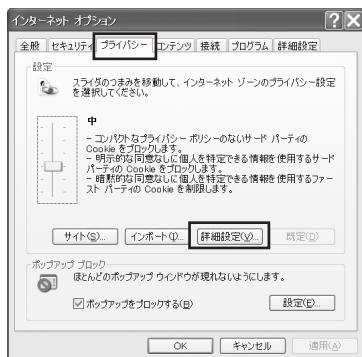
［OK］をクリックします。

Webブラウザの設定

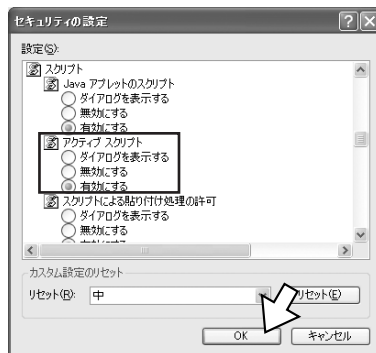
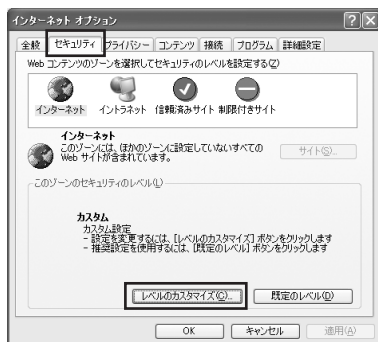
本商品は、各種の設定をWebブラウザで実施します。Windows® XP Home/Professional（SP2）ではInternet Explorer6.0（SP2）以降、Windows® 2000、Windows® MeではInternet Explorer6.0（SP1）以降がインストールされていることを確認してください。画面はWindows® XPの例です。

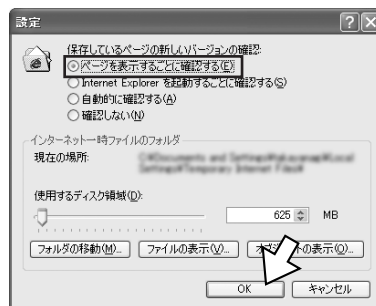
<Cookieの設定>

①Internet Explorerを起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。

②「プライバシー」タブをクリックし、[詳細設定]をクリックして、「自動Cookie処理を上書きする」にチェックがついていることを確認し、[OK］をクリックする。

<Javascriptの設定>

①「セキュリティ」タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ］をクリックする。

②スクリプト項目のアクティブスクリプトが「有効にする」に設定されていることを確認し、[OK］をクリックする。

＜キャッシュ機能の設定＞

①「全般」タブをクリックし、［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックする。
②「ページを表示するごとに確認する」にチェックが入っていることを確認し、［OK］をクリックする。

お知らせ

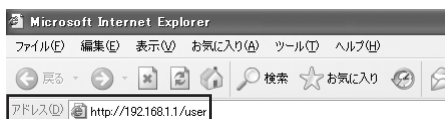
- Web ブラウザは、ホームページを見るためのソフトウェアです。代表的なブラウザとして、Microsoft® Internet Explorer があります。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ウィザードを終了してください。
- ブラウザの［戻る］、［進む］は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

本商品の設定を行うには

本商品に接続したパソコンのWebブラウザで各種設定を行うことができます。

1 本商品に接続したパソコンでWebブラウザを起動する。

2 Webブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.1/user」と入力し、「Enter」キーを押す。

本商品のIPアドレスの初期値は「192.168.1.1」です。

3 パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

パスワードの初期値は「user」です。
入力したパスワードは、「＊＊＊＊」で表示されます。
パスワードは変更することができます。(☛P3-28)
「ユーザー名」は空欄のままにしてください。
「パスワードを記憶する」をチェックしても、入力したパスワードは記憶されません。
次回もパスワードを入力してください。

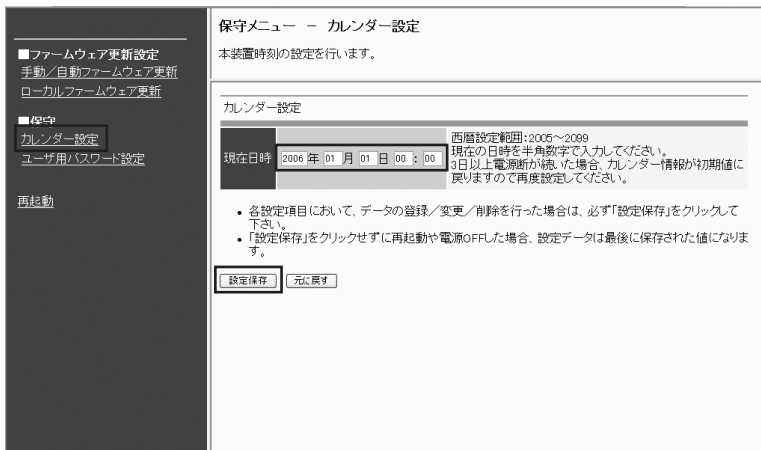
4 設定のトップ画面が表示されます。

左側のメニューから項目をクリックして、各設定画面へ移動することができます。
設定を変更した場合は、[設定保存]をクリックしてください。

お知らせ

- 「ユーザー名」は空欄のみです。変更はできません。
- [設定保存]をクリックする前に再起動をしたり、停電があった場合、設定データは最後に保存された値になります。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。

日付と時刻を設定する

本商品の日付と時刻を設定します。
設定した日付と時刻は、自動ファームウェア更新の更新日時と通信ログの表示に使用されます。

1 ［保守］の［カレンダー設定］をクリックする。

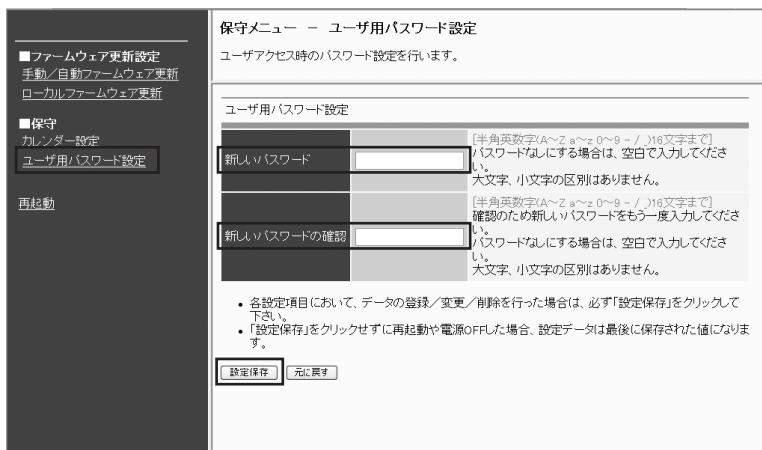
2 年月日と時刻を入力する。

3 ［設定保存］をクリックする。

お知らせ

● 時刻はあくまでも目安としてご利用ください。時差が生じたときは、時刻を合わせ直してください。

パスワードを変更する

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。

1 ［保守］の［ユーザ用パスワード設定］をクリックする。

2 パスワードを入力する。

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

3 もう一度同じパスワードを入力する。

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

4 ［設定保存］をクリックする。

お知らせ

●「ユーザー名」は空欄のみです。変更はできません。

再起動する

本商品を再起動します。

■ファームウェア更新設定
手動／自動ファームウェア更新
ローカルファームウェア更新
■保守
カレンダー設定
ユーザ用パスワード設定
再起動

再起動
再起動を行います。

再起動を行います。
よろしいですか？
ＯＫ　キャンセル

1 ［保守］の［再起動］をクリックする。

2「再起動を行います。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックする。

3［OK］をクリックする。
本商品が再起動します。

ワンポイント

● **再起動を中止するには**
手順2、3で［キャンセル］をクリックします。

お知らせ

● 各種設定で［設定保存］をクリックする前に再起動をした場合、設定データは最後に保存された値になります。
● 通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
● NTT東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動を行うとインターネット接続が切断されます。
● 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

1 お使いになる前に
2 ひかり電話オフィスタイプを利用する
3 本商品の設定
4 バージョンアップする
5 ご参考に

4 バージョンアップする

本商品のファームウェアを更新するには

本商品は定期的にサーバにアクセスし、最新のファームウェアのアップデートを実施します。
自動ファームウェア更新の有効、無効、自動更新時刻などを「自動ファームウェア更新の設定をする」（☛P4-3）で設定できます。

自動ファームウェア更新の設定をする

自動ファームウェア更新を実施するかどうかを設定します。自動ファームウェア更新を無効にした場合は、更新チェックは自動で行われますが、ファームウェアのダウンロードは行われません。

1 Web ブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには」（☛P3-26）の手順 1 〜 3 を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 ［ファームウェア更新設定］の［手動／自動ファームウェア更新］をクリックする。

3 各項目を設定する。

・自動ファームウェア更新詳細設定
- ［自動ファームウェア更新］：
  有効か無効かを選択します。
- ［現在時刻］：
  現在の年月日と時刻が表示されます。
- ［自動更新時刻］：
  自動更新を実施する時刻を入力します。新しいファームウェアがある場合、設定した時刻から 1 時間以内に新しいファームウェアをダウンロードし、自動的に再起動します。
- ［自動ファームウェア更新開始日］：
  自動ファームウェア更新を開始する日付を入力します。
  「毎日」に設定した場合、「自動更新時刻」の設定に従い、ファームウェアのダウンロードを行います。
  「指定日」に設定した場合、設定した日付になるまで新しいファームウェアのダウンロードを行いません。
  設定した日付以降は「毎日」に設定したときと同じ動作をします。
- ［現在のファームウェアバージョン］：
  現在のファームウェアバージョンが表示されます。

4 ［設定保存］をクリックする。

お知らせ

- 自動ファームウェア更新を「有効」に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動します。
  更新完了時に通話中の場合は、通話が終わったあと約 1 分後に再起動します。
  NTT 東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
- ファームウェア更新中および再起動が完了するまでの間は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

Web ブラウザから手動で更新する

Web ブラウザの設定画面から手動でファームウェアを更新することができます。

1 Web ブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには」（☛P3-26）の手順 1 ～ 3 を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 ［ファームウェア更新設定］の［手動／自動ファームウェア更新］をクリックする。

3 ［手動ファームウェア更新］の［手動更新］をクリックする。

4 「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行ってください。」と表示されたら［再起動］をクリックする。

最新のファームウェアがない場合は「確認が終了しました。新しい更新はありません。」と表示されます。再起動の必要はありません。

5 「再起動を行います。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックする。

6 「通話中の呼が切断されます。再起動しますか？」と表示されたら［OK］をクリックする。

本商品が再起動します。

お知らせ

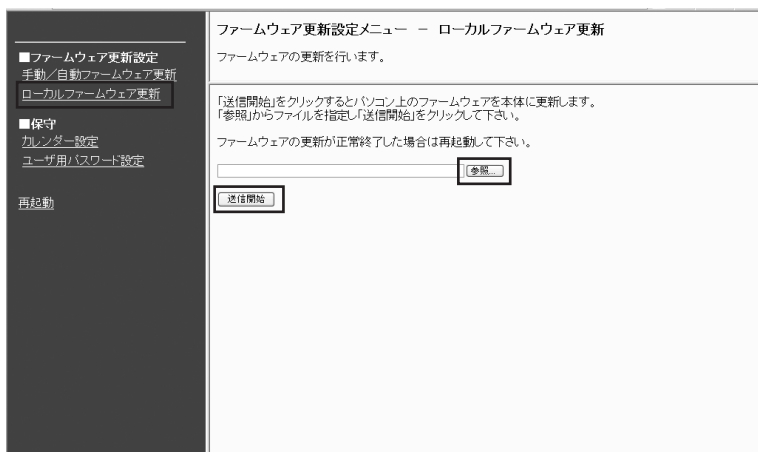
- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- NTT 東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動を行うとインターネット接続が切断されます。
- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

ワンポイント

- **再起動を中止するには**

  手順 5、6 で［キャンセル］をクリックします。

ローカルでファームウェアを更新する

パソコン上のファームウェアを使用して、Web ブラウザの設定画面からファームウェアを更新することができます。

1 Web ブラウザを起動して、設定のトップ画面を開く。

「本商品の設定を行うには」（☛P3-26）の手順 1 ～ 3 を行い、設定のトップ画面を開きます。

2 ［ファームウェア更新設定］の［ローカルファームウェア更新］をクリックする。

3 ［参照］をクリックし、パソコン上のファームウェアを選択する。

4 ［送信開始］をクリックする。

5 「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行ってください。」と表示されたら［再起動］をクリックする。

6 「再起動を行います。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックする。

7 「通話中の呼が切断されます。再起動しますか？」と表示されたら［OK］をクリックする。

本商品が再起動します。

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- NTT 東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動を行うとインターネット接続が切断されます。
- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

ワンポイント

- **再起動を中止するには**

  手順 6、7 で［キャンセル］をクリックします。

電話機から手動で確認／更新（再起動）する

ビジネスホンからの操作により、手動で最新ファームウェアの有無の確認や更新（再起動）をすることができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

最新ファームウェアの確認

1 **ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**
「ツー」という発信音を確認してください。

2 **ハンドセット（受話器）を取りあげる。**

3 **ダイヤルボタンで 00010 と押す。**
最新のファームウェアがある場合は「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえます。
最新のファームウェアがない場合は「ピッピッピッピッ」という確認音がハンドセットから聞こえます。

最新ファームウェアの更新（再起動）

1 **ビジネスホンの外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**
「ツー」という発信音を確認してください。

2 **ハンドセット（受話器）を取りあげる。**

3 **ダイヤルボタンで 00011 と押す。**
最新のファームウェアがある場合は「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、ファームウェアの更新を行います。
最新のファームウェアがない場合は「ピッピッピッピッ」という確認音がハンドセットから聞こえます。

4 **ハンドセット（受話器）を置く。**
約 1 分後に再起動します。
ハンドセット（受話器）を置いたときに、ほかの電話機が通話中の場合は、通話が終わったあと約 1 分後に再起動します。

お知らせ

- 最新ファームウェアの確認／更新（再起動）は、ビジネスホンの外線捕捉の状態（「ツー」という発信音が聞こえる）で行ってください。
- NTT 東日本エリアでご利用のお客様でインターネット接続を行っている場合は、再起動を行うとインターネット接続が切断されます。
- 再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
- Web ブラウザでの各種設定で［設定保存］をクリックする前に再起動をした場合、設定データは最後に保存された値になります。

5 ご参考に

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
POWER ランプが点灯しない。 電話がかけられない。 電話がかかってこない。	電源アダプタが正しく接続されていない。	電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。	☛P1-11、1-12
設定画面を開けない。	パソコンが正常に設定されていない。	パソコンの設定を確認してください。それでも復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。	☛P3-4～3-25
ALARM ランプが点灯または点滅している。	本商品が正常に動作していない。	電源を入れ直してください。	－
勝手に再起動する。	自動ファームウェア更新を「有効」に設定している場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動する。	故障ではありません。	☛P4-3
G4 ファクスで送信しても G3 ファクスになってしまう（VG420i ／ 820i の場合）。	本商品は G4 ファクスに対応していない。	故障ではありません。 本商品は G4 ファクスに対応していませんので、G3 ファクスでご利用ください。	－

ユーザ設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
プロバイダの接続パスワードは、お客様の個人情報となります。記入された際は、お取り扱いにご注意ください。

項　目		設定記入欄（下線はお買い求め時の設定）
ユーザ用パスワード		user［　　　　　　　　　　］
自動ファームウェア更新詳細設定	自動ファームウェア更新	□有効　□無効
	自動更新時刻	03時（AM3：00） ［　　　　　　　　　］00～23時
	自動ファームウェア更新開始日	□毎日　□指定日［　　　　　］

索　引

アルファベット

五十音

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

ヤ行

ラ行

仕　様

項　目		仕　様
WAN 側インタフェース		IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）自動認識
	ポート数	1 ポート
	接続コネクタ	RJ45（8 ピン モジュラジャック）
	最大伝送距離	100 m
LAN 側インタフェース		IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）自動認識
	ポート数	1 ポート
	接続コネクタ	RJ45（8 ピン モジュラジャック）
	最大伝送距離	100 m
アナログポート（VG420a ／ 820a のみ）		
	ポート数	VG420a ： 4 ポート　　VG820a ： 8 ポート
	接続コネクタ	232D（2 ピン クイックコネクタ）
	選択信号	PB/DP（10 pps/20 pps）
	最大通話数	VG420a ： 4 通話　　VG820a ： 8 通話
	接続距離	最大 200 m ただし、アナログ通信機器の直流抵抗は 50 Ω以上、300 Ω以下であること
BRI ポート（VG420i ／ 820i のみ）		JT-I.430 準拠 P-MP 接続（レイヤ 1 常時起動、給電能力なし）
	ポート数	VG420i ： 2 ポート　　VG820i ： 4 ポート
	接続コネクタ	232D（4 ピン クイックコネクタ）
	対応プロトコル	JT-Q.921、JT-Q.931（回線交換のみ） ： JT-Q.932 は未対応
	最大通話数	VG420i ： 4 通話　　VG820i ： 8 通話
	接続距離	最大 200 m
	P-MP 接続台数	1 台
CLK ポート（VG420i ／ 820i のみ）		JT-I.430 準拠
	ポート数	1 ポート
	接続コネクタ	232D（4 ピン クイックコネクタ）
VoIP プロトコル		SIP/2.0
	呼制御	RFC3261（SIP）/RFC2327（SDP）/RFC3264/RFC2617/ RFC3323/RFC3324draft-ietf-sip-session-timer-08/
	音声	RFC1889（RTP）
	最大通話数	4ch 構成時 4 通話/8ch 構成時 8 通話
	音声符号化則	JT-G.711（μ Law）20 ms（固定）
	DTMF	みなし音声（透過）
	エコーキャンセラ	JT-G.168（64 ms）
	音声レベル	3dB ステップ（8 段階）
使用電源		AC100 V ± 10 V（50/60 Hz）（専用電源アダプタ使用）
消費電力		最大 36 W
外形寸法	本体	約 260 mm（W）×約 172 mm（D）×約 54 mm（H）
	縦置き時（専用スタンド使用）	約 100 mm（W）×約 186 mm（D）×約 272 mm（H）
質量（本体）		約 0.7 kg
使用条件		温度： 5 ℃～ 40 ℃　湿度： 45 %～ 85 %（結露しないこと）

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

0120 − 242751（24時間　年中無休）

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

0120 − 248995（24時間　年中無休）

● その他

定額保守サービスの料金についてはIP電話対応機器お取扱相談センタまたはNTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

IP電話対応機器お取扱相談センタ

0120-710444

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03 − 5667 − 7200（通話料金がかかります）
受付時間　9：00〜21：00
年末年始　12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT通話機器お取扱相談センタ

0120-109217（トークニイーナ）

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06 − 6341 − 5411（通話料金がかかります）
九州地区
092 − 720 − 4862（通話料金がかかります）
受付時間　9：00〜21：00
年末年始　12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

921976A3

環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- ●製品のリサイクル可能率を70％以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、IP 電話対応機器お取扱相談センタまたはNTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

IP 電話対応機器お取扱相談センタ： 0120-710444

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03－5667－7200
（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
年末年始　12 月 29 日～1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT 通信機器お取扱相談センタ： 0120-109217（トークニイーナ）

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06－6341－5411
（通話料金がかかります）
九州地区
092－720－4862
（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
年末年始　12 月 29 日～1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本 2789-3(2006.7)
VG420/820 ゲートウェイトリセツ〈1〉